

福井県衛生環境研究センター活動報告 概要

発表演題名	新型コロナウイルス感染症疑い検体における他の呼吸器ウイルス検出状況について
発表学会名	第 50 回 北陸公衆衛生学会
発表者名	高橋 美帆（保健衛生部）
開催場所	富山県民会館 304 号室
発表日時	令和 5 年 11 月 27 日 11:30~11:40
発表内容	コロナ禍において、新型コロナウイルス感染症が疑われる有症患者の検体について、新型コロナウイルスの遺伝子検査が陰性と判定された検体が数多く存在している。そこで本研究では、これらの検体について、他の呼吸器感染症ウイルスの検査を実施することで、コロナ禍における県内の呼吸器感染症の実態を明らかにすることを目的とした。 検査は、2020 年 2 月から 2022 年 3 月までに採取された唾液もしくは鼻咽頭拭い液検体のうち、新型コロナウイルスの遺伝子検査が陰性かつ肺炎症状を呈した患者もしくは発熱、鼻症状、喉症状、頭痛、倦怠感のうち 2 つ以上の症状を呈した患者検体、561 検体を対象とした。 その結果、82 検体から 13 種の呼吸器感染症ウイルスを検出し、内訳は HRV が 25 例、HPIV が 15 例、HMPV および HCoV が 11 例、HAdV が 10 例、HBoV が 9 例、RSV が 3 例、Flu および EV が 2 例であった。複数検出された HRV や HAdV は、新型コロナ対策として有効とされたアルコールに対して抵抗性を持つため、コロナ禍の厳しい予防対策が実施される中でも一定程度検出されたのではないかと推測している。 また HMPV に着目すると、小児や高齢者のみならず、肺炎症状を引き起こしていた比較的若い 30 代~40 代の成人からも検出されたことから、成人の呼吸器感染症において注視すべきウイルスであることが示唆された。 コロナ禍に流行が抑制されていたウイルスについては感受性者が増加していると推測され、今後、アウトブレイクの恐れもあるため、引き続き呼吸器感染症ウイルスについての動態把握が重要と考えられる。